【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成17年9月15日(2005.9.15)

【公開番号】特開2003-307810(P2003-307810A)
【公開日】平成15年10月31日(2003.10.31)
【出願番号】特願2002-112241(P2002-112241)
【国際特許分類第７版】
　Ｇ０３Ｃ　1/74
【ＦＩ】
　Ｇ０３Ｃ　1/74

【手続補正書】
【提出日】平成17年3月30日(2005.3.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　支持体上に少なくとも一層のハロゲン化銀乳剤層を有するハロゲン化銀写真感光材料において、該ハロゲン化銀乳剤層に含有されるハロゲン化銀乳剤の全塗布銀量（ｇ／ｍ^2）をＡ、現像処理後脱銀をしない状態でのスペキュラー透過濃度であって下式で表される値をＢとしたとき、Ｂ／Ａの値が０．５７未満であることを特徴とするハロゲン化銀写真感光材料。
　Ｂ＝－ｌｏｇＴｓ
　式中、Ｔｓは角度３°（半角）で積分して測定された５５０ｎｍでのスペキュラー透過率を表す。
【請求項２】
　前記ハロゲン化銀乳剤層の少なくとも一層に、シリカで表面処理された平均一次粒径が１ｎｍ以上１００ｎｍ未満の微粒子酸化チタンが透明性を保持したまま分散されて含有されていることを特徴とする請求項１に記載のハロゲン化銀写真感光材料。
【請求項３】
　前記微粒子酸化チタンが分散安定化剤として低分子量ゼラチンを用いて分散されていることを特徴とする請求項２に記載のハロゲン化銀写真感光材料。
【請求項４】
　前記酸化チタンの含まれる層の少なくとも１層に、塩化銀含有率５０モル％以上の臭化銀粒子、沃化銀粒子、または沃臭化銀粒子を含むハロゲン化銀乳剤を含有することを特徴とする請求項２または請求項３に記載のハロゲン化銀写真感光材料。
【請求項５】
　前記酸化チタンの含まれる層の少なくとも１層に、ハロゲン化銀粒子の全投影面積の５０％以上が、厚み０．１３μｍ未満で塩化銀含有率が５０モル％以上の臭化銀粒子または沃臭化銀粒子を含むハロゲン化銀乳剤を含有することを特徴とする請求項２または請求項３に記載のハロゲン化銀写真感光材料。